挑戦する
かがわの27 ものづくり企業

ゾウ数十頭分にも相当する、巨大な重機。パーツ一つでも、スケールの大きさには圧倒されます。鉱山やビル解体など、ハードな稼働条件にも耐えうる重機の高い性能を支えているのは、香川のものづくり企業です。

株式会社クシベウィンテック

住所 三豊市高瀬町上高瀬1574-1
創業 1943年
☎0875−73−5111
http://www.kushibe.co.jp/

ハードな現場を支える 大胆かつ精密な技術力

職人技とロボット化 両輪で支えるものづくり

クシベウィンテックのものづくりは、同社の表現を借りれば「デカい・硬い・強い」。大手建設機器メーカーの協力会社約160社に県内で唯一名を連ね、鉱山やビル解体、浚渫（しゅんせつ）などに使われる、極めてスケールが大きく強靭（きょうじん）な建設機械の部品づくりを得意としています。月に数十台生産するものから数年に1回のニーズまで、手掛ける製品はさまざま。依頼に応じて柔軟にカスタマイズも施します。

同社のパーツが使われるのは「掘る」「削る」「砕く」といった各機械の用途の最も重要な部分。それだけ負荷のかかるパーツでもあり、シビアな用途に耐える耐摩耗鋼（表面硬度が高い）や高張力鋼（強度が高い）など加工の難しい特殊素材を扱う技術とともに、溶接の精密さ・正確さも求められる世界です。本社を置く香川のほかに京都にも拠点を構え、2拠点4工場で「特殊鋼の大型製品を一貫生産できる」という強みを打ち出しています。

櫛部晃博社長

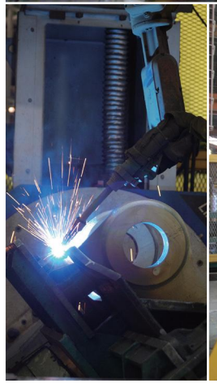
もともとは鉄工所からスタートしたという同社の3代目代表取締役社長・櫛部晃博（くしべあきひろ）さんは「設備ものを手掛けるようになった時から、スケールの大きいものづくりは当社のテーマだったんでしょうね」と語ります。「今は人間の基礎技術を大切にしながら、ロボットを積極的に導入していかに省人化していくかも、ものづくりにおいて重視しています」。同社のロボット導入は1980年と業界でもいち早く、以来、自社開発機械も含めて常に最新の設備を整えてきました。客先が主催する技術競技大会では、世界大会のロボット溶接部門で優勝した実績も誇ります。

技術者を刺激する工夫

同社の製品は、あまりに巨大なため完成品の形で運送することができないことも。納品時はいくつかのパーツに分けた状態で現地に運び、現場で溶接して完成させます。「工場と違って地面が水平でなかったり、天候も大きく変動するなど、毎回条件も異なる現場で、ミリ単位のレベル出しを行います。」と語る京都工場の安井敏泰（やすいとしひろ）さんは、同社の技術部門の中核を担う取締役製造本部長。2019年度の京都府「現代の名工」にも選ばれた金属溶接の技を持つ、熟練の技術者です。「私たちの仕事は、どんな種類のものづくりをどれほどこなしたか、経験とつくり込みの積み重ね。未知の仕事はスキルアップのチャンスであり、常に興味がありますね」と語る一方、後進がしっかり育つよう技術の共有や指導にも力を入れています。

「社内でも、さまざまな技能競技大会を開催しているんですよ」と櫛部さんが語るオールクシベ技能競技大会は、技術者のモチベーションを刺激し、積極的なチャレンジ精神を育む教育の一つです。「まずは創業100周年を目指して、当社のコアといわれる難易度が高いものづくりを磨いていくことが重要です」と、力強く語ってくれました。

問い合わせ先
（公財）かがわ産業支援財団 取引支援課
☎087−868−9904

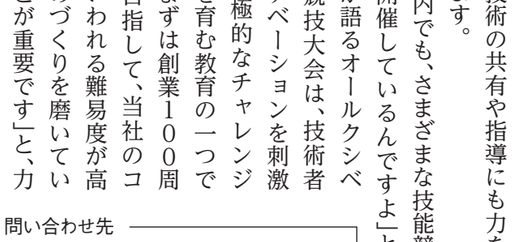


INFO かがわ成長する企業大賞 候補企業を募集します

県は、特徴的な製品やサービスの開発などの優れた取り組みで、成長を続けている中小企業を表彰する「かがわ成長する企業大賞」制度を設けています。本年度も、候補企業を2020年10月末まで募集します。詳しくは、県ホームページでご確認ください。

【2019年度　受賞企業の紹介】

○ものづくり部門
株式会社サムソン（観音寺市、汎用機械製造業）
○商業・サービス部門
大豊産業株式会社（高松市、産業用電気機器卸）
○奨励部門　※奨励部門は、従業員数が20人程度の中小企業を表彰します
hacomo 株式会社（東かがわ市、ダンボール製品企画販売）



（問い合わせ先）産業政策課　企画・総務グループ
高松市番町四丁目1番10号東館6階　☎087−832−3349
Eメール:sangyo@pref.kagawa.lg.jp
詳しくは　かがわ成長する企業大賞　検索